



流 福 審 第 2 1 号  
平成 2 6 年 1 0 月 2 2 日

流山市長 井崎 義治 様

流山市福祉施策審議  
会長 小島 富美



流山市高齢者支援計画の策定について（中間答申）

平成 2 6 年 4 月 2 2 日 付 流社 第 5 9 号 で 諮 問 の あ っ た 第 6 期（平成 2 7 年 度 から 平成 2 9 年 度 ま で）の 流 山 市 高 齢 者 支 援 計 画 に つ い て、下 記 の と お り、中 間 答 申 を し ま す。

#### 記

流山市高齢者支援計画に関し、これまで審議した内容について以下のとおり答申いたします。

- 1 2025年の高齢者人口のピークに向け、地域包括ケアシステムの構築が必要である。特に、認知症対策や介護と医療の連携を推進することが重要であることから、こうしたテーマを中心に最終答申に向けて、継続して審議を進めていただきたい。
- 2 現時点で、介護報酬に関する国の方針が定まっていないことから、介護保険料の設定に関する計画部分が未調整であるという説明であった。したがって、今後、国から方針が示され次第、すみやかに介護保険料に関する計画を示し、本審議会の審議を経ること。
- 3 パブリックコメントの実施後は、市民等から寄せられた意見及びその対応について本審議会に報告し、最終答申に向けて調整を図ること。